

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272701178		
法人名	社会福祉法恵生会		
事業所名	グループホーム三老		
所在地 (電話番号)	〒039-0103 青森県三戸郡南部町大向字仙ノ木平42番地 (電話) 0179-22-1252		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 22日	評価確定日	平成 20年 11月 7日

## 【情報提供票より】(平成20年8月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 1月 5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.4人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	4,500 円
敷 金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(8月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	68 歳	最高	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	滝沢胃腸科外科医院
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>果樹園に囲まれた高台に立地し、静かな環境にある。ホーム内においても季節が感じられ、地域性がうかがえる。管理者始め職員の方々においても、利用者さんがゆったり、ゆっくり、安心して日常生活が送れるよう、個々を大切に思うケアの提供がされている。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で改善計画の作成とサービスの質の確保と向上を図る。が改善課題であったが、外部評価の内容や自己評価は全職員で改善に向けた取り組みをしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で取り組み、見直しが行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議ではホームからの一方的な報告だけにならないよう配慮され、参加メンバーの意見をもらいサービスの質の向上へ努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族の意見や要望など、話しやすい雰囲気になっておらず、運営に反映するまでにいたっていない。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者が地域のお祭りなどに参加したり、中学生が訪問するなど、地域の連携や事業所との関係を深めている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で作りあげた理念で明確になっている。パンフレットに事業所独自の理念をのせることを考えている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員で作りあげた理念を月1回のミーティング時に話し合い、共有している。日常的な話しに至っていない。		毎日のミーティングの前に職員で唱和する等、日々のケアに取り組んで行くことに期待したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	利用者の加齢により、日常的に散歩や買い物に出かけ、地域住民と触れ合う事が困難になっているが、地域のお祭りに参加したり、中学生がホームを訪問したり、地域との交流に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価の意義は全職員が理解し話し合い、改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議に問題点を提示し、双方で意見交換されている。利用者が事故に合わない様な体制や、食の安全を考慮し、地元の農家より直接購入するなどの配慮に繋がっている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村の担当者と考え方や状況を共有し、アドバイスをもらう等、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在必要とするケースがないが、対象者が出た時の支援につながるよう研修参加や勉強会を行っている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全職員で防止に努めている。マニュアルも作成されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時には契約や解約について十分な説明を行い、理解や納得が得られている。利用者、家族の不安等についても対処している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回のホーム便りで暮らしぶりを伝えたり、体調変化時はその都度電話などで連絡をしている。職員の異動等についても報告をしている。金銭管理は出納帳コピーの送付をしている。</p>		<p>遠方の家族にはホーム便りに利用者の現状を一言書き添え、写真と共に送るなど、個々に合わせたきめ細かなサービスの提供となる事を期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情ポストの設置や面会時等に意見、要望を記入出来るようにしている。</p>		<p>相談窓口を設けているが意見を言い難い状況にある。家族会を設けるなど意見が出しやすい方法の検討が望まれる。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はホーム内のユニット間で行われ、利用者の情報交換を密に行い、利用者への影響を最小限に抑えられている。職員を固定化して行く方向である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	公平に研修参加が出来るシステム作りがされている。ホーム内の勉強会を開きレベルアップを図っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や地域の協会に加盟している。地区の協会の活動に積極的に協力する等、情報交換が行われている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や、入居時まで担当していたケアマネージャ等からの情報を基に、馴染める様な雰囲気作りをしている。他利用者と徐々に馴染める様に職員の気配りが伺われる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との会話を大切に、昔の地域性を話題にする等、お互いが協働しながら和やかな生活が送れる様に、場面作りや声かけがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中で声がけをし、把握に努めている。言葉や表情等から思いや希望を汲み取っている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の思いを、管理者、職員で把握し、全職員で介護計画の作成に取り組んでいるが、職員視点の介護計画の傾向にある。</p>		<p>利用者、家族の意向を十分に把握し、意向が反映された介護計画の作成を期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直し、作成している。計画に変更が生じた場合は、積極的に見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>定期受診や緊急時の受診に家族が付き添えない場合に、職員が代わりに付き添う等、必要な支援が行われている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用契約時に医療情報を得て、利用者、家族と、受診の支援方法を確認し対応している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期について、事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っている。		マニュアルの作成や意思確認書を作成する等して、利用者、家族が安心できる支援体制を期待したい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねる要因となる言葉づかいや、排泄面での対応を、全職員が認識し取り組んでいる。居室の氏名にも配慮がうかがえる。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課にとらわれず、利用者の体調や希望に沿った支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>数人ではあるが、絹さやの芯を取ったり、片付けなどを利用者と職員が一緒に行い、楽しい食事が出来る雰囲気作りの工夫が伺える。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ゆっくり1人づつの入浴で、安心や満足感が得られ、入浴を楽しむ支援をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除や後片付けをするなど役割を持ち、生活歴を生かした活動が出来る支援が行われている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>加齢によって外出する事が困難となっているが、通院時、利用者の希望に沿って寄り道をしてくるなど、外出の支援をしている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修参加やホーム内での勉強会を開くなどして、職員の意識向上を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りの徹底を図り、利用者の安心、安全の支援がされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルの作成と共に消防署の協力を得て、地域住民と一緒に夜間訓練を実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を活用、食事量の把握をしている。利用者の状態に合わせた栄養摂取への取り組みがされている。		水分摂取量によって体調変化が考えられる為、水分摂取量の把握が望まれる。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルの作成や勉強会を開く等、予防、対策に取り組んでいる。		耐性緑膿菌など、現在の感染マニュアルの追加見直しを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>果樹園に囲まれた環境にあり、窓から四季折々の景色が見渡せ、季節感を感じる。ホール内の天井の高さや、空気調整が行われ居心地の良い空間作りがされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には備え付けのクローゼットがあるが、使い慣れた馴染みのタンスや絵、写真などが飾られてあり、ゆっくり過ごせる工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。